

# 2022 年度第 1 四半期決算 アナリスト向けオンライン説明会 主な質疑応答

広報・IR部

## 【全体】

**Q：計画に対する 1Q の仕上がりポジティブな点、ネガティブな点に分けて教えてほしい。**

A：業績全体は好決算であり、1Q としての売上高、営業利益は過去最高を達成したが、個々に事業を見るとプラス面とマイナス面があったと認識している。クロアリアは引き続き市況が好調で非常に良いパフォーマンスであった。戦略事業では、ライフが 1Q 比で若干の減益だが事業そのものは成長し、エレクトロニクスも順調に推移した。これに加えて、今期はフッ素・スペシャリティもかなり伸びている。能力増強したタイミングでコロナの影響を受けて収益性が落ちたが、そこから回復し利益が出るようになった。建築用ガラスは、欧州の天然ガス価格でマイナスの影響があったが、全体的にはかなり健闘した。マイナス面は自動車用ガラスで半導体不足の影響が想定以上にネガティブに効いたことが挙げられる。ディスプレイ用ガラスも円安が製造原価に対してネガティブに効いた。

**Q：中国における AGC の収益やサプライチェーンの状況、ロックダウンの影響は？**

A：当社売上高に占める中国の割合は 1 割程度。中国で展開している主な事業はディスプレイ用ガラスと自動車用ガラス。今のところ、全社業績に影響は出ていない。一部ロックダウンによるサプライチェーンへの影響はあるもののそこまで大きくない。

**Q：原油高、天然ガス高、石炭高の通期業績への影響は？**

A：足もとで最も影響があるのは欧州の天然ガス価格。欧州は当社の中で窯の数が最も多く、コストに大きく効いている。天然ガス価格高騰を受けて、欧州の建築用ガラスでは 2 月からエネルギーサーチャージを導入している。天然ガス価格が一定以上上昇すると自動的に製品価格に上乗せする仕組みが動いており、かなりの部分は取り返している。一方、自動車用ガラスはまだ価格転嫁が十分ではなく、影響が大きい。アジアのクロールアルカリ事業も、エネルギー価格上昇の影響を受けているが、市況がタイトなため価格で取り戻している。

原油の感応度は 1 \$ /バレルの上昇で 3 億円の減益。欧州天然ガスの感応度は 1 ユーロ/MWh の上昇で 7 億円程度の減益。これらをヘッジやエネルギーサーチャージ等で取り戻しているため、そのまま減益要因になっているわけではない。

**Q：今回の業績で原油等のヘッジ損益は出ているか？**

A：天然ガス、重油についてヘッジをかけている。地域によってはヘッジが難しいところもあるため全般的にヘッジをかけているわけではない。なお、今回の決算ではヘッジによる評価益を計上している。

**Q：第 1 四半期の純利益で、過去最大はいつだったのか？**

A：2010 年で 397 億円。

**Q：Q2 のセグメント別の見立ては？**

A：見直しを変えていないのでコメントは難しいが、現時点では通期業績を見直さなかったため上期予想も据え置いた。1Q で営業利益は上期の 60% 程度の進捗であり順調だ。2Q は差引 372 億円となるが、QoQ で大幅な減益となることはおそろくないだろう。各事業の見直しに関しては、1Q 同様の傾向が継続している。化学品はかなり強い状況が継続、ガラス、電子は 1Q のトレンドから大きく変わらないだろう。

## 【ガラスセグメント】

**Q：自動車用ガラスの価格政策は、どの程度の価格改定を想定しているのか？また、既に成果は出ているのか？**

A：自動車業界特有の事業環境で値上げが難しい状況が続いてきた。足もとはコストが上昇し、赤字となってしまっているため価格を上げざるを得ない。どの地域で、どの程度の幅で上げるかはコメントができないが、これまでとは違う次元の価格政策を行っていく。既に、一部、欧州中心に値上げの取組みをしているが全く不十分で、強力に推進していく。

**Q：ロシア事業の現況と今後の見通し、事業ポートフォリオの中での位置づけの変化、撤退の可能性について。**

A：ロシアでは建築用ガラスと自動車用ガラスの事業を展開しており、事業サイズが大きいのは建築用ガラス。自動車用ガラスは西側の自動車メーカーが生産を停止しているため、低稼働になっている。一方で、もともとローカル需要が中心の建築用ガラスの稼働はそれほど落ちていない。今後、事業を継続するかについては非常に回答が難しい。ロシアの状況や国際情勢を考え、ロシアでの事業継続リスクを考慮し、適切に判断していく。

**Q：ロシアのウクライナ侵攻以降、欧州経済に停滞の気配を感じるか？欧州におけるガラス需要、市況の状況は？**

A：停滞の気配は感じない。侵攻の影響を受けているという情報はほとんどない。今のままいけば大きな変動はない。長期的に見ると、天然ガスをはじめとするエネルギー供給への懸念は追い風になる可能性がある。天然ガス消費削減のため建物の断熱性が重要になり、高機能ガラスの市場拡大が加速する可能性がある。

**Q：ロシアが欧州への天然ガス供給を止めた場合の影響は？**

A：報道されているのでご存知の部分も多いと思うが、天然ガスはロシアにとっては重要な外貨収入源である一方で、欧州においては重要な生活基盤インフラであるため、完全にストップするリスクは小さいと思っている。万が一、天然ガス供給が完全に停止した場合、短い期間であれば代替手段で対応できるが、長期に止まると欧州における 1/3 程度の窯の稼働に影響が出る。その場合には、需要に応じて欧州全体の窯の稼働状況を最適化して対応する。

## 【電子セグメント】

**Q：ディスプレイの営業利益率が急落しているがなぜか？また、電子部材の営業利益率が上昇しているのはなぜか？**

A：電子セグメントは、利益額は対前年比でほぼ変わらないが、構成が変わった。電子部材は半導体、オプトエレクトロニクス関連製品の出荷が伸びているため増益となっている。

ディスプレイは円建のビジネスであり、円安が海外拠点の製造コストにネガティブに効いている。また、輸送含めたコストが上昇している。そのためディスプレイは厳しい事業環境にある。生産効率の高い窯を展開しているので、コストは徐々に下がっていくだろう。ディスプレイの収益性は昨年・本年をボトムに回復すると見ている。

**Q：ディスプレイの競合が 1 Q 対前四半期比で販売数量が一桁前半%増、価格は緩やかに上昇と発表している中で、AGC は減収となっている。数量価格はどのような状況であったか？今後の見通しは？**

A：価格については品種構成の影響もあり若干上昇している。数量については客先構成や品種構成の影響もあり若干減少している。2Q からは 1 桁前半%程度、他のメーカー並みには増えてくると思う。

**Q：半導体サイクルのピークアウトは AGC の半導体関連事業にとって懸念材料か？**

A：特に懸念はしていない。非常に需要は旺盛だと認識している。AGC の製品は EUV や CMP などハイエンド向けが多い。その需要が落ちる心配はしていない。

**Q : EUV マスクブランクス対前年比、対前四半期比の伸びを教えてください。**

A : 個別に細かくは説明していない。前年比で売上高が 4 割程度伸びると見ており、その見通しに変化はない。四半期ごとには客先の状況で波があるが、年間ではしっかり伸びる。

## 【化学品セグメント】

**Q : 塩化ビニル樹脂、苛性ソーダ市況の今後は？**

A : 塩化ビニル樹脂とエチレンのスプレッドはピークアウトしているが、苛性ソーダが高止まりしている。徐々に下がってくるとは思っているが、大幅に落ちる要素もないと思っている。中国の環境規制、コロナの影響等は予測が難しいが、急落することは想定しづらい。

**Q : タイのクロアリ増設は、インドネシア Phase 6 と同等規模の能力増強だが、本件の投資額が倍近くである理由は？**

A : インドネシアでの増設とタイの増設では塩化ビニル樹脂の能力増強の幅が異なる。具体的には、インドネシアにおける能力増強幅は 25 万トンであったのに対し、今回のタイでの能力増強幅は 40 万トンと規模が大きい。また、当時と比べ為替が円安であること、人件費が上昇していることに加えて、インドネシア案件は 1 社内での自社での一連での増強であったのに対し、ビニタイは環境対応投資も含めて投資をすること、などから投資額が大きくなっている。

**Q : クロアリ投資の目標の IRR は？ 市況変動事業の株価バリュエーションのマイナス影響を上回る効果があるのか？**

A : 当社は ROCE を用いて事業を管理しているが、クロールアルカリは ROCE 的にも非常に良い事業だ。IRR を具体的に申し上げられないが、本投資は全社および化学品の ROCE 向上につながる。

**Q : ライフサイエンスの営業利益率が前年 1Q 比で低くなった理由は？ また CDMO の稼働率は？**

A : ①2021 年 1Q は利益性の高い案件が集中しており、年間の中でも 1Q が特に良かったことの反動、②米国を中心にかなり大きな能力増強をしていてコストが先行していることに加え、1Q に計画修繕などの影響もあり、コストが重い状態だったこと、③化学品セグメントの利益が大きく伸長したため、相対的に低く見える。今後については全く心配していない。稼働率は開示していないが、コロラドが本格的に立ち上がる局面にある。また、欧州も能力増強をしていっている。設備が立ち上がるとすぐに稼働が埋まり、既存設備の稼働率は既に高い状況にある。

以上